

ICT(情報技術)を活用しコンテナターミナルにおける 搬入ゲート前通過時間を約6割削減！！ ～『CONPAS』(新・港湾情報システム)の試験運用結果～

1. 概要

セキュリティを確保しつつ、手続きの迅速化、ゲート前の混雑緩和等を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的に『CONPAS』の開発を行っています。

今般、試験運用を行い、事前予約制度の実現にむけた検証を実施しました。

2. 実施概要

- 期間：平成31年2月13日(水)～3月1日(金) ※土日祝除く
- 場所：横浜港南本牧ふ頭コンテナターミナル
- 実施内容：搬出入コンテナ(実入り・空)を対象とした事前予約制度の運用
- 協力：神奈川県トラック協会 海上コンテナ部会

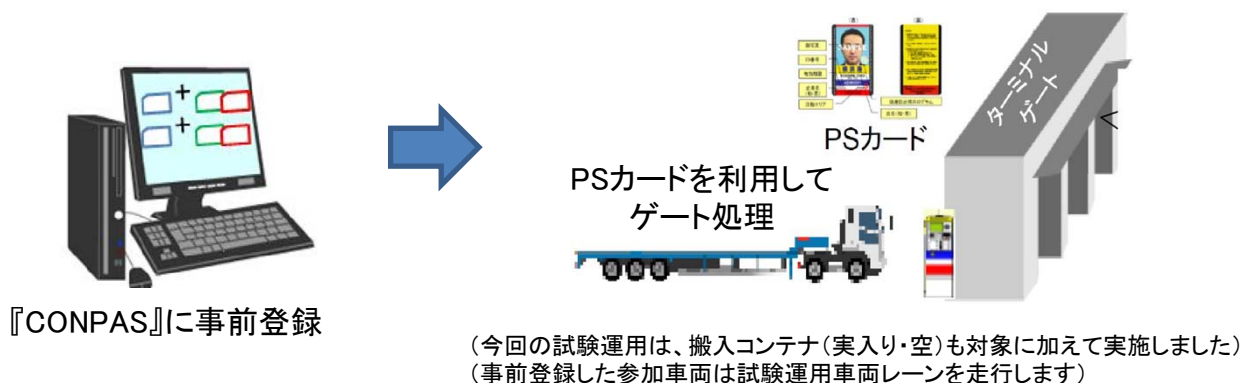
南本牧ふ頭コンテナターミナル

(平成30年1～3月、8～9月、11～12月の試験運用に引き続き、4回目の試験運用となります。)

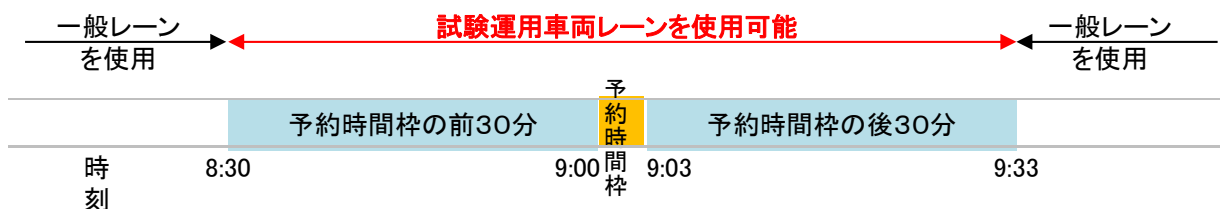
3. 試験運用のしくみ

- 予約は、原則、搬出入日の7日前の14時からゲート到着の直前まで可能
- 予約時間枠(3分単位)の前後30分以内に到着した場合のみ、試験運用車両レーンを走行可能

(予約時間の前後30分間に到着することができなかった車両は、一般車両と同様の走行経路を走行)



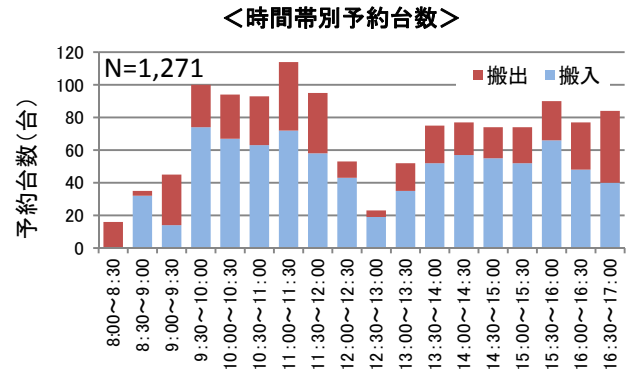
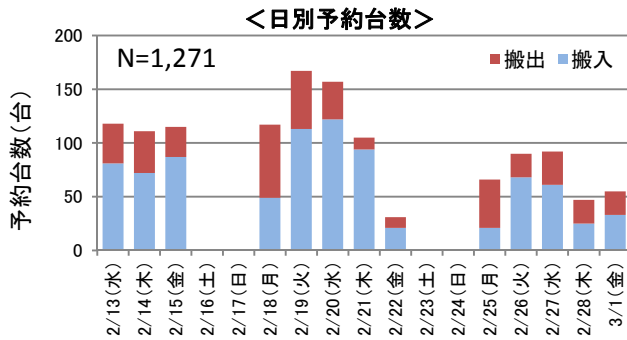
【運用ルールのイメージ(9:00～9:03に予約した場合の例)】



4. 試験運用の結果

(1) 予約受付件数

- 今回の試験運用では、1,271台※1が予約されました。日により大きな変動があり、搬入コンテナの方が多くの予約がありました。

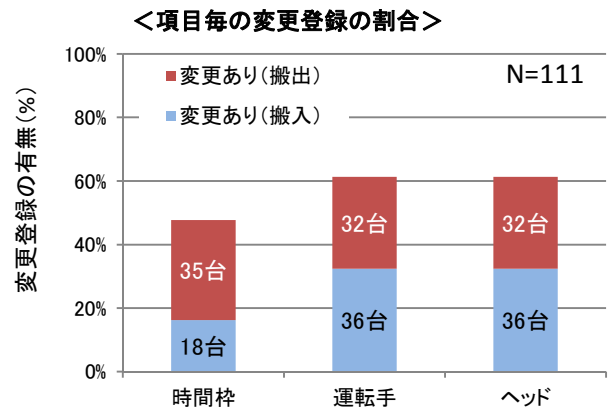
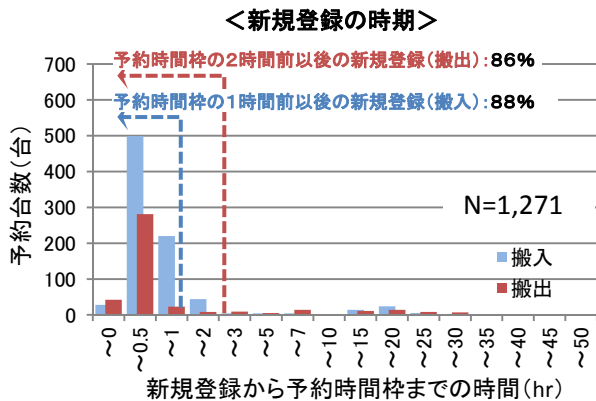


※1 予約取り消しが行われた116台は含まない

(2) 予約(新規・変更登録)の状況

- 新規登録のタイミングは、搬入においては全体の約9割が予約時間枠の1時間前以後、搬出においては全体の約9割を予約時間枠の2時間前以後が占めました。
- 予約(変更登録)のうち、「予約時間枠」の変更登録が約5割※2あり、「配車(運転手、トラクタヘッド)」の変更登録が6割※2ありました。

※2 予約台数1,271台のうち、新規登録時の内容のまま搬出入が行われた1,160台を除いた111台が対象

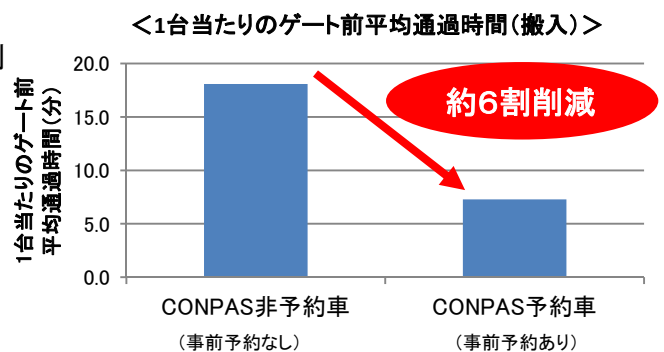


(3) 事前予約制によるゲート前待機の削減

- 今回の試験運用で事前予約を利用した搬入車両において、ゲート前通過時間※3が約6割短縮※4されました。

※3 コンテナヤード前の車列ができる区間(待機場入口~ゲート)の走行所要時間

※4 CONPAS予約車両の所要時間と、当該車両と同時刻に待機場場に到着した車両の推定所要時間の比較(平均値)



6. 今後の予定

- 引き続き、搬入コンテナを対象とした事前予約車数の増加を図るとともに、繁忙期における事前予約制度の効果を検証するため、試験運用(4月22日~4月26日、5月7日~5月10日)を実施する予定です。
- さらに、利用者のご意見も聞きながら、横浜港の他ターミナルや他港への展開を目指して検討を進めていきます。

お問い合わせ

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 クルズ 振興・港湾物流企画室
公平(こうへい)、森川(もりかわ)

TEL 045-211-7437

MAIL pa.ktr-portlogistics@ml.mlit.go.jp